

事業名 「なるほど！体験教室」

小学校の総合学習の時間を利用し、子供達に技術の楽しさ、おもしろさを体験を通して伝え、技術への好奇心を育てるための教室です。参加した子供達がこれから関東地方整備局の取り組みへ興味を持ったり、将来行政に対して意見・提案の出来る大人になってほしい、さらに建設技術者になりたいと夢を抱いてもらえればと期待して、通年を通して開催するものです。

受賞機関 国土交通省関東地方整備局
関東技術事務所

事業実施期間 平成13年4月1日～平成15年3月31日

事業費 10百万円

事業等の特徴

身近な五つのテーマを選定し、国土交通省を退職した経験豊かな技術者と現役の技術者が、教育委員会、青年会議所、NPOの方々とも情報交換しながら活動している。伝えたいことがある人が自ら資料を作り、自ら行動し、自ら伝えるものであり、これまで、国土交通省と接点がなかった教育関係者の高い評価を得ている。また、40校を超える小学校を訪れ、教育現場の要望を聴取するとともに、教育カリキュラムを調査したうえで対応したこと、半年間の試行期間を設け、参加する側の意向を把握してから本格的運営に移行したこともあり、参加した子供や学校関係者から好評を得ている。地元の新聞やテレビ報道でも取り上げられるなど大きな反響を呼んでいる。事業の概要と利用者等の評価

「なるほど！体験教室」は小学校の総合学習の時間を利用し、関東技術事務所の取り組みを紹介するとともに、子供たちに体験を通して技術の楽しさ、おもしろさを伝え、技術への好奇心を育てることを目的としている。また、参加した子供たちがこれから関東地方整備局の取り組みへ興味を持ったり、将来行政に対して意見・提案のできる大人になってほしい、さらに建設技術者になりたいと夢を抱いてもらえることを期待して、通年開催するものである。

体験教室のテーマとして、国土交通省関東地方整備局の業務に関連し、小学校の学習カリキュラムと整合のとれる次の5つを用意した。時間は話と体験



本物そっくりの道路で車イス体験、出発! どのくらい知ってる? リサイクルのこと

を併せて40分程度だが、参加される方の希望により調整は可能としている。

テーマ：

- ・川と生活の係わり
- ・道路と生活の係わり
- ・バリアフリーについて
- ・地図と測量について
- ・リサイクルについて

この教室の講師は、国土交通省（旧建設省）を退職した者で、長く建設行政に携わり蓄積された知識を分かりやすく話してもらうもので、未来の技術者、現役の技術者、国土交通省OBの技術者の3世代が一緒になって取り組んでいることが最大の特徴である。教育委員会や青年会議所、NPOの方々とも情報交換をしながら活動している。

審査委員会委員の意見等

- ・社会資本整備に対する社会的認識の深化は、中長期的観点から極めて重要な課題である。このことを押しつけの手法に走らず、参加する側の気持ちに立って、子供達等の具体的ニーズの発掘・検証、ニーズに応えるために必要とされる手法の開発等を、関係者とのきめ細やかな対話・調整を通じて体験学習という形に具体化したことは、手法論として高く評価される。この事業に対する社会的反響の大きさ・評価は、これらを裏付けるものであろう。
- ・小学校の総合学習時間を利用し、子供たちに技術の楽しさ・面白さを体験し好奇心を育てる取り組みが、教育関係者の理解を得ていることは評価できる。
- ・参加者からのアンケート回答が面白く、参考になる情報を数多く含んでいる。公共事業、社会資本整備の理解を得るためにも重要な分野である。
- ・現在の子供たちには様々な体験が不足しているが、特に、職業体験は重要である。「なるほど！体験教室」は公共事業の役割を理解させるだけでなく、社会資本の整備に係わる職の必要性や重要性をも子供たちにも理解させ、将来の職業選択に寄与するのではないかと。実際に子供たちが参加するまでのプロセスも評価したい。
- ・「考えてから感じる」ことが重要と思う。体験の重要性から評価したい。